

http://www

# Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看護学発 第7巻 第3号

2021年 1月号

浜田医療センター附属看護学校

68期生ナーシングセレモニー・・・1P～2P

66期生ケーススタディ発表会・・・4P

67期生基礎看護学実習Ⅱまとめの会・・・7P

66期生看護の統合と実践実習Ⅱまとめの会・・・9P

67期生自治会ボランティア活動・・・3P

地域での防災について考える・・・5P～6P

67期生弥栄診療所の方のお話を聞いて・・・8P

68期生学年紹介・・・10P



## ナーシングセレモニー 68期生（1年生）

独立行政法人国立病院機構  
浜田医療センター附属看護学校  
Tel.0855-28-7788



〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12

mail : [kanri-t@hamakan.nh.jp](mailto:kanri-t@hamakan.nh.jp)

—「資料請求」は公式 HP から—

[https://hamada.hosp.go.jp/kango/index\\_00001.html](https://hamada.hosp.go.jp/kango/index_00001.html)

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

スマホを  
ご利用の方は  
こちらから

発行責任者  
編集責任者  
編集

飯田博  
高下智香子  
隈部直子、畑中美保  
崎本美子、岡本諭  
山岡富美香、福嶋洋子  
平田洋子、三家本八千代  
尾川ひとみ、岩成美樹  
松野由香、木屋佳奈恵  
金山和正



## ～68期生 ナーシングセレモニー～

1年生 多々納 沙羅

令和2年12月19日に、68期生のナーシングセレモニーが行われました。今年は、新型コロナウイルスの影響で例年とは異なる形でどのような式になるのか、不安もありましたが、私たちにとって一生忘れない決意の日になりました。式の中では学校長、浜田医療センター看護部長さんからの心強い激励のメッセージを頂きました。また浜田医療センターのスタッフの方々、高等学校の先生方、本校の先生方や先輩方、そして家族からの温かい言葉をいただき、私たちが日々多くの方々に支えられていることを改めて実感しました。準備の段階では、5つの係がナーシングセレモニーを完成させるため、意見を出し合ったり、報告しあいました。その中で、苦労や困難も多くありましたが、みんなでひとつのチームとなり、乗り越えました。様々な係同士がひとつの目標に向かって協力し合う力は、今後臨床現場に出た時にチーム医療として患者さんを援助する中で必要な力であると思いました。

看護師という職業がどれほど重要な職業かということも改めて感じました。68期生全員が理想の看護師になれるよう、これからも実習や学習を頑張ります。



### ～ ナイチンゲール像より継火 ～



## 誓いの言葉

私たち 68 期生は、看護師として人の役に立てることに誇りをもち、  
患者や家族の心に寄り添い思いやりのある看護師を目指します

つねに初心を忘れず、学び続ける姿勢を持ち続けます

観察力、判断力、人間性を磨き、患者と共に成長し続けます

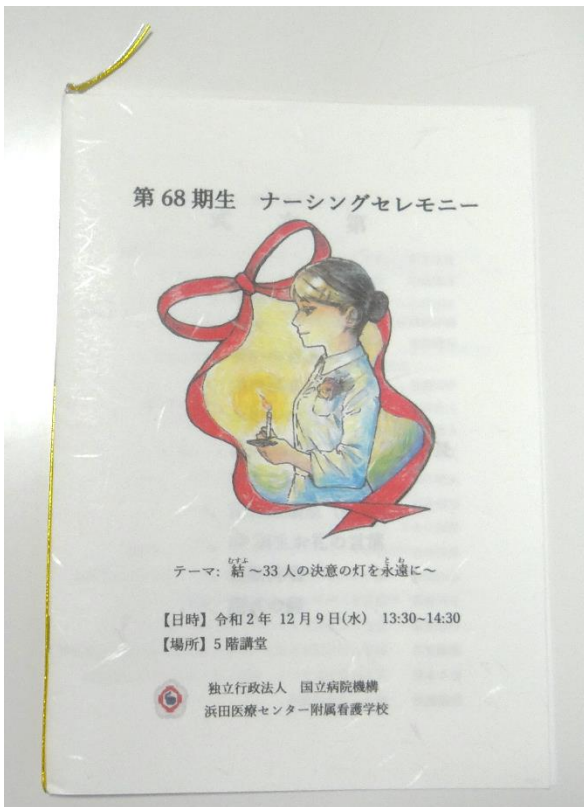
安心感をもっていただけるよう、  
個性を尊重し、笑顔溢れる看護を提供します

命をあずかる仕事だという自覚をもち、責任ある行動をします

看護技術を応用するための実践力を身に付け、  
日々変化する患者の心情や健康状態に関心を持ち、  
患者の力を引き出せるよう努めます

私たちを支えて下さる全ての人に感謝し、  
自らが心に決めた志を最後まで貫き通し、看護の道を極めます

以上のことを誓います



～自治会から頂いたコサージュを胸に～



～浜田医療センター看護部・学校教員・在校生からのメッセージ～



～66期生代表お祝いの言葉 齋藤 寛巖～



～68期生代表 お礼の言葉 伊藤 穂実～

## ～67期生 自治会ボランティア活動～

2年生 長澤 妃奈

令和2年10月2日(金)に、本校に隣接する浜田医療センター周辺の奉仕作業を行いました。新型コロナウイルスの影響で学校祭が中止となり、自治会活動ができなくなりました。そこで、地域に貢献することはないかと考え今回の活動を行いました。ボランティア活動の一環として、午前中はシルバー人材センターの方たちが医療センター周辺の草刈りを行っておられたため、その様子に触発され、午後から67期生が医療センターの正面玄関の草抜きを行いました。私たちが日々の学習の息抜きとなり、クラスのみなどと楽しく活動することができました。通院されている方から声を掛けて下さり、地域のコミュニティも深めることができました。今後も様々なボランティア活動の参加を通して、地域の方々との関わりを深めていきたいです。



## コーヒープレイク

(教務室のつばやき)



教育主事 高下 智香子

2年前から「いけばな」を習い始め、職場に飾り毎日眺めています。車道は通らず草花や畑を眺望できる道を選んで徒歩通勤しています。今年の春は色とりどりのチューリップを学校で育てました。生活の中にアロマオイルをとりいれ香りを楽しんでいます。職員仲間とリモートでヨガをしています。身体に合ったリクライニングチェアを最近購入しました。改めて振り返ると癒しを求めているなあ～。まずは身体が資本！日々頑張っている自分自身にも感謝してコロナ禍のストレスを乗り切っていこう！

## ～66期生 ケーススタディ発表会～

3年生 小澤 諒也

今回看護研究に取り組んで、臨地実習で行った看護援助について振り返り整理しなおす事を通して、看護についての考えを深めることができました。

私は、看護研究のテーマとして、患者の退院に向けての食事指導を取り上げました。研究としてまとめる為に文献を参考にしたり、教員から指導を受けるなどして大変でしたが、やり遂げることができて達成感を感じることができました。発表会では、他の学生から講評をもらったり、質疑応答をすることで、自分とは違った意見や考えを知ることができ、新しい気付きをすることができました。そして、看護師は患者に対し、一方的な関わりをするのではなく、患者の思いやニーズに耳を傾け、患者が主体となるかわりを持つことが大切であることを学ぶことができました。



3年生 日高 武志

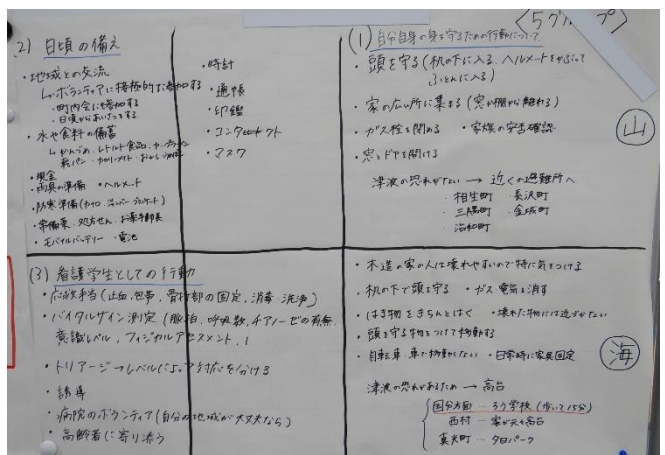
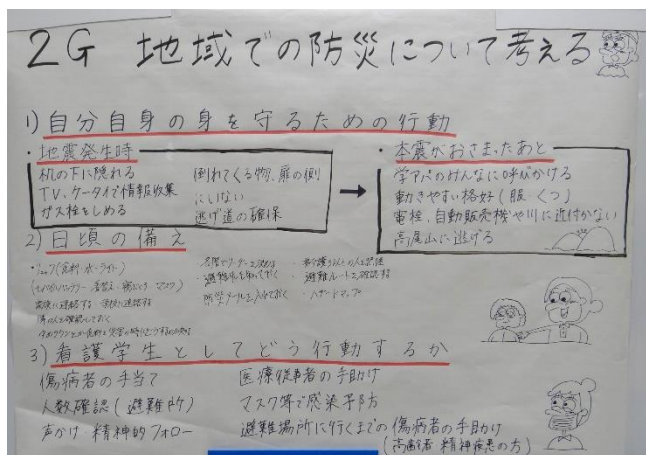
私は「自宅退院を目指す高齢者の排泄セルフケアの検討」と題して、研究に取り組みました。機能的自立度評価法（FIM）を使用し、患者の日常生活動作（ADL）を再度評価することが最も大変でした。発表では明確に伝えられなかった箇所もあり、悔いが残りましたが、自身の課題を発見するいい機会となりました。仲間の発表から学びが深まったことも多く、66期生が出会った全ての患者さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

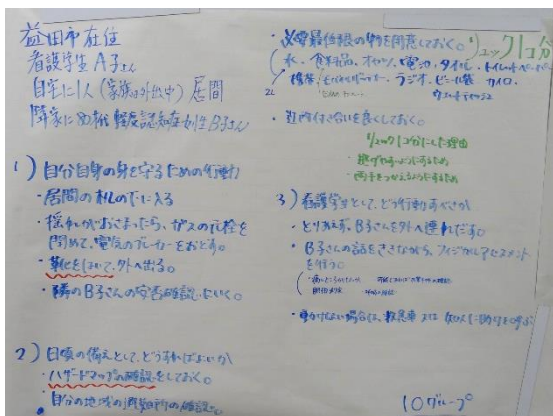
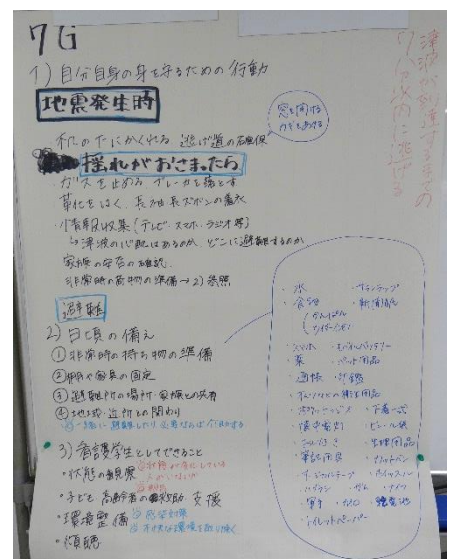
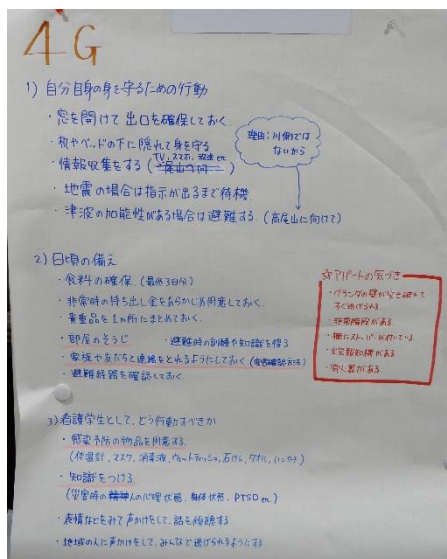
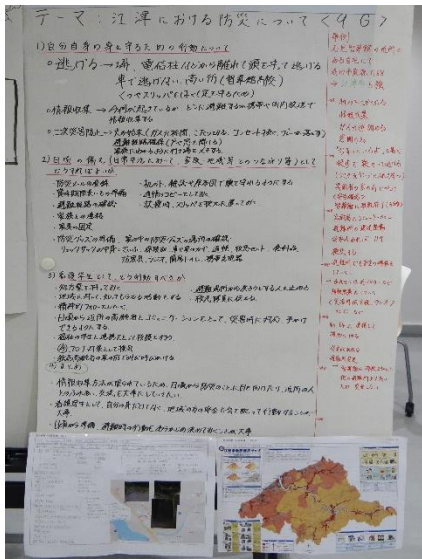
研究成果としては、高齢者を取り巻く環境の「転倒転落リスク」を低くすれば、患者さんの排泄セルフケアを向上することができるわかりました。今後臨床で働く際には、患者さんの退院を見据えた看護を提供するために、自宅環境について十分にアセスメントしていきたいと思います。

## ～地域での防災について考える～

令和2年12月11日（水）、浜田市防災安全課防災安全係の松島さんから「浜田市の防災」について講座をしていただきました。遠隔で講座を受けた後、グループに分かれて地域での防災について考えました。事例では浜田市沖合でM6.8（横揺れ）の地震が発生した場合の行動について考えました。グループで検討した内容は、①自分自身の身を守るための行動について②日頃の備え（日常生活について、家族・地域等とのつながり等）としてどうすればよいか③看護学生としてどう行動すべきかでした。1～3年生の縦割りのグループとなり、3年生がファシリテーターとして意見をまとめてくれました。

学校の立地場所は津波浸水想定地域なのかどうか、津波が到達する10分程度でどう行動したらよいのか、非常時の備蓄は1日分でよいのかなど考えさせられ、日頃から、地域の人達と助け合える関係を築き、災害の種類によって防災対策を具体的に考えておかなければならないことを改めて実感しました。学生・教員ともに防災や災害に対する意識を高める機会となりました。





### 日頃の備えの大切さ

アパートの隣の人も話したことがない。  
 もしかしたら、隣でケガして動けないかもしれない。  
 日頃から挨拶をして顔見知りになっておこう！  
 建物 3 階以上の場所で 10 分以内に徒歩で避難できる  
 場所は？この辺だったら……。  
 避難グッズはどこに置いておこう？何を準備していた  
 らいいのか？ 今、考えておくことが大切です。

### 看護学生として何が出来るか・・・

声をかけ助け合いながら避難する、患者さんの処方薬をもって避難する、避難者に安心できるような声掛けをしながら状態を観察する、環境整備をする、福祉の方と協力するなどなどの意見があがりました。

## コーヒーブレイク (教務室のつばやき)



教員（実習調整者） 崎本 美子

コロナ禍で、患者さんとの関わりが求められる実習がこんなにも制約されるとは思ってもみず……。でも教務室が一丸となって「3年生を卒業させよう！」と、教員同士あれこれと工夫を凝らしながら、実習を運営してきました。3年生の実習は当院をはじめ、近隣施設の協力のもと無事に終わりそうです。そんな中、実家にも戻らず3年生は文句も言わず頑張ってくれました。ほんとうにありがとう。あとは国家試験と卒業です。がんばれ！！

### JR 浜田鉄道部から浜田駅合格入場券をいただきました



## ～67期生 基礎看護学実習Ⅱ まとめ～

2年生 中尾 光璃

令和2年9月29日に基礎看護学実習Ⅱのまとめの会が開催されました。私はまとめの会のリーダーを務めました。

まとめの会は、実習での自分たちの看護の実践について、事前に病棟ごとに集まり、代表事例について看護目標や計画の妥当性、評価の視点等をグループで話し合い、そこでまとめられたものを発表する機会となりました。最初は質疑応答が単発でつながりがなく、なかなか深めて考えることができなかったのですが、まとめの会に参加しておられた先生方の助言があり、質問者は自分の問いに対する答えが納得できるものであるのか責任を持つことや、司会者は質疑応答が本当に通じ合っているのか確認することなどの大切さを知りました。その後は活発な質疑応答が行われ、仲間と情報を共有することの大切さを知り、さらに学びを深めることができました。また、自分が知らなかった新しい視点にも気づくことができました。しかし、後半、質疑応答が多かったために時間が足りなくなり、その分、リーダーとして会の運営の工夫が必要だと感じました。課題も残りましたが、クラス全体で実習を乗り越えていくために、仲間と情報を共有し、知識を増やしていくことの大切さをしっかりと認識できました。今後の実習に活かしていきたいです。





## ～67期生 弥栄診療所の方のお話を聞いて～

2年生 長澤 妃奈

令和2年10月9日(金)の老年保健の時間に弥栄診療所から阿部顕治先生、看護師さん2名、医大生1名が来て下さり、弥栄診療所での地域医療への取り組みについて講義をしてくださいました。

弥栄診療所では小さな子どもから高齢者の方まで幅広く対応しておられます。講義では診療所での日々の活動だけでなく、地域全体に焦点を当てて、普段の健康づくりから病気の予防、早期発見のために行っている講演会やボランティアの様子も動画等で紹介がありました。その後、地域医療について考えるグループワークも行いました。

今回の講義を通して、地域医療や地域包括ケアシステムについて具体的な事例をもとにより詳しく学ぶことができました。そして高齢化や過疎化の進むこの浜田の地域で、自分たちに何が出来るかを考える良い機会になりました。今回学んだこと、感じたことをこれからに活かしていきたいです。



## ～グループワークの様子～

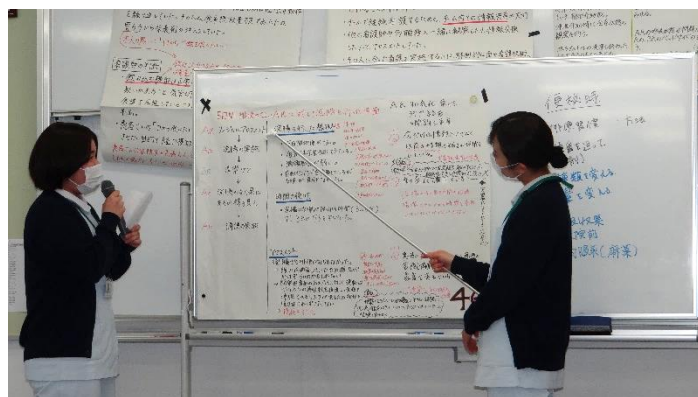


## ～66期生 看護の統合と実践実習Ⅱまとめの会～

### ～報告・連絡・相談の大切さ～

3年生 二上 穂乃香

臨地実習で看護師のシャドーイング（実践の見学）を行い、「看護師ってすごいな」と感じた場面から学生間で学びを深め、教員や病棟看護師からの助言も得ながら新人看護師として必要な能力とはなにかということについて考えました。その中で、自分だけの判断で行動するのではなく、分からない時、迷った時は先輩看護師に報告・連絡・相談ができるということも必要な能力なのだということを感じました。看護は常に患者さんが中心であることを忘れず、どうしたら安全安楽に過ごせるのかということを考えながら、患者にとって最善の看護をしていきたいと思いました。



### ～領域実習では気づけなかった気づき～

3年生 舛田 亜美

統合実習Ⅱでは、複数患者の受け持ちや看護師のシャドーイング（実践の見学）を行わせていただきました。まとめの会ではシャドーイングでの学びをもとに師長さんや指導者さんにも参加していただきディスカッションや全体発表を行いました。今回のまとめの会を通して、複数の患者を受け持ちながら、チーム内で協力して勤務を行なっていることやその方法など、病棟では気づくことができなかったことも多く、学びを深めることができました。4月から看護師として臨床の場に出られるよう、今までの学びを生かすまは、看護師国家試験を合格したいです。

## ～68期生 学年紹介～

### 1年生 澄川 理音

私たち68期生は、男子2名、社会人3名を含めた33人です。ほかの学年に比べ、社会人の方が多いですが、アドバイスをもらったり、お互いに教えあったりして全員が仲良く過ごしています。私たちの今年の目標は、「切磋琢磨～33人で助け合いテストを乗り越えよう～」です。今後医療従事者として働くためにはお互いに助け合うことが大切になるため、単位認定のための学習を通して助け合い、お互いに高めあっていけるようなクラスになれるようにこの目標を立て、達成できるように頑張っています。

私たちは、入学してすぐオンライン授業からスタートしました。なかなか友達に会うことができず寂しい思いもしましたが、対面授業になって、毎日クラスの友達と一緒に勉強できることに感謝をしながら楽しい学校生活を送っています。はじめは遠慮がちな所もありましたが、8月に行った仲間研修で、みんなで沢登りやバレーボールをし、普段とは違うお互いを知ることができ、あまり話したことがない人とも協力し、より仲のいい楽しいクラスになりました。普段はまじめでおとなしいですが、一人一人個性が強く、物事を決めるときは自分の意見をしっかりと言い合えるクラスです。

12月に行ったナーシングセレモニーでは、看護師になるための決意を固め、先輩方や先生の前で誓い、より学習への意識を高めることができました。これから実習も始まり、忙しくなりますが、33人で協力して乗り越え、自分たちの理想の看護師を目指して頑張っていきたいと思います。



～仲間研修～



～基礎看護学実習 | まとめの会～



～三浦麗子先生の講義～



～ナーシングセレモニー～

## 自治会によるクリスマス会(リモート)を開催しました！



動画を撮影し、入院されている患者さんに見ていただけるよう院内放送していただきました



リモートクイズで  
盛り上がっている様子



## 個別学校説明会 (WEB 版)

WEB 版個別学校説明会を随時受け付けております。

当校の魅力や具体的な受験方法などお伝えし、一人でも多くの方に当校を進路先の一つとして考えていただきたいと願っています。

また、保護者様からの具体的なご相談にも対応できますように看護教員を配置しておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。

お申込みは、ホームページや電話からお受けいたします。

[https://hamada.hosp.go.jp/kango/index\\_00001.html](https://hamada.hosp.go.jp/kango/index_00001.html)

### 個別学校説明会での主な内容

1. 浜田医療センター附属看護学校に関する全体説明
2. 学科に関する説明、学内演習紹介
3. 実習に関する説明
4. 実習先の母体病院の紹介
5. 学校生活に関する説明

随時受付中！！

